

トピックス Topics

埼玉ベンチャーピッチ 第22回開催される

埼玉県、さいたま市、埼玉県産業振興公社、さいたま市産業創造財団、有限責任監査法人トーマツおよびデロイトトーマツベンチャーサポート（株）が幹事となり、2カ月に1度開催されている埼玉ベンチャーピッチ。このほど開催された第22回のもようを紹介する。

埼玉ベンチャーピッチは、埼玉県内を中心とした大企業、ベンチャー企業、金融機関、公的団体が参加するビジネスマッチングの場。ベンチャー企業のプレゼンテーションをきっかけに、新たな取引や提携、商品・サービスを創出することで埼玉県経済の活性化を図る場を提供しようというもの。今回は、10月24日（水）15時よりビジネスプラザさいたま（埼玉りそな銀行さいたま新都心支店3階）にて開催。Health&Beautyをテーマに新たなビジネス展開をはかる4社のプレゼンおよび質疑応答が行われ、40名近くが参加した。

■登壇企業とプレゼン概要

1. 「傷あとキレイでココロも晴れやか」 ギネ マム（株） 学術部長 中村 泰久氏

さいたま市南区太田窪1957 第三星野ビル5階 TEL：048-711-5621 <http://www.gmom.co.jp>

分娩はいまや5人に1人が帝王切開と言われていています。帝王切開で母子ともに安全に出産できるのですが、帝王切開から1年後の傷あとを調査すると34%にミミズ腫れがみられました。そして7割のお母さんがそのケアをしていません。傷あとのケアの方法を知っていればケアを試したいお母さんが8割弱を占めました。

私たちはこうした傷あとのケアに、使い続けられる安全なシリコンシート「レディケア」を2016年2月に発売しました。傷あとに貼るだけでミミズ腫れのリスクを減らします。医療用シリコンでかぶれにくく、洗って繰り返し使えます。現在産婦人科医やネット通販を通じて販売しています。出産で喜び、傷あとキレイでお母さんに二重の喜びを提供したいと思っています。今後は海外の市場も開拓できたらと考えています。国内でも連携できる企業様を探しています。



ギネ マム（株）
学術部長 中村 泰久氏

2. 「over E 胸を張って生きていく、運命の一枚を」

(株) エスティーム CEO 和田 真由子氏

東京都台東区松が谷4-18-1-203

TEL：050-6869-2493 <https://www.esteem-inc.com/>

胸が大きな女性のためのアパレルブランド「over E（オーバーイー）」を運営しています。ニッチな事業分野だと言われますが、日本女性の4人に1人はEカップ以上で、市場規模は約1500万人です。



(株) エスティーム
CEO 和田 真由子氏

例えばシャツのボタンが外れないか心配、太って見える、谷間が気になる、胸に視線が集まるのがいや、などは胸の大きな女性の切実な悩みです。これらの悩みに対して、細く見えるシャツ、胸元に隠しボタンがあるシャツなど、既製の不安を解決するアイテムを展開しています。

こうした方の自信と笑顔を取り戻すこと、胸を張って生きていくことを力添えできたらと考えます。チャレンジとして次は女性向け、ファミリー向けにストッキングやおむつなどの自動販売機事業を埼玉からチャレンジしたいと思っています。

3. 「乳酸菌生産物質のご紹介」 (株) 光英科学研究所

代表取締役 村田 公英氏

埼玉県和光市新倉5-1-25 TEL：048-467-3345

<https://www.koei-science.com/>

弊社は乳酸菌生産物質の製造販売、乳酸菌の発酵技術の研究開発を手がけています。乳酸菌含有食品市場は拡大を続けていますが昨今成熟傾向にあり、単なる乳酸菌ではない「新たな切り口」が求められるようになってきました。

乳酸菌生産物質は乳酸菌が作り出した物質で乳酸菌とは異なります。菌はいろいろな物質＝代謝物を放出しており、例えば有名なペニシリンはアオカビの代謝物です。乳酸菌が代謝する乳酸菌生産物質は健康の鍵となる腸内の善玉菌を増やす働きがあります。弊社の製品は本来ヒトの体内で代謝される乳酸菌生産物質を体外で生産し、健康食品やサプリメントとして体内に取り込むことで腸内の善玉菌を助けるという発想から開発しました。

今後は乳酸菌生産物質をサプリメント・健康食品の素材として、ヘルス&ビューティー商品として、新たな食品素材として展開していきたいと考えています。



(株) 光英科学研究所
代表取締役 村田 公英氏

4. 「『選択肢のある日常』が当たり前になる社会を作る」 Mana'olana (マナオラナ)

CEO 布施田 祥子氏

さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3階 cocoオフィス

TEL：048-400-2717 <https://manaolana.jp>

障がいのある人たちにとって選択肢がある日常が当たり前になる社会を作りたいと思っています。私は2つの障がいを負っていますが、今の社会は自信がなくなる、あきらめたり遠慮せざるを得ないなど選択肢がないとても生きづらい社会だと実感しています。

私は左の手足に麻痺の障がいが残ってしまして、日常生活では歩くことを補助する装具を装着しています。装具があると左右のサイズが異なる靴を履かなければいけない。しかも介護用の靴はデザイン性に乏しい。私はおしゃれをあきらめたくない、自分が履きたい靴がほしいという気持ちで1年前からスタイリッシュな靴を作り始めました。

障がいがあるないに関わらず、みな同じような選択肢があることが自分らしく生きるためには大切です。受注会による対面販売で靴の販売を展開していくとともに、障害者も楽しめるセレクトショップ運営を作ろうと思っています。



Mana'olana (マナオラナ)
CEO 布施田 祥子氏